

ビッグプロジェクト

法務省：大阪拘置所（大阪市）建替

法務省が計画している大阪拘置所建て替えの全体計画の概要が明らかになった。工事を4期に分け、総延べ約11万㎡の規模で収容棟や宿舍、庁舎などを建て替える。同省は、実施設計業務を公募型プロポーザルで選定した山下設計と7億6650万円を契約し、2011年8月26日までの納期で進める。09年度の発注見通しでは、第1期工事を09年度第4四半期にも入札する方針を示しており、設計と工事を並行して進める見通し。工事は、今後10年程度かけて進める見込み。大阪拘置所（大阪市都島区友渕町1-2-5）は、職員を含めた収容定員が2120人に上る全国第2位の拘置所。法務省は、老朽化が進む収容棟などを順次建て替え、大半を占めている共同室を単独室に変更していく方針。定員は、2500人まで拡大させる。09年度予算に工事費などを新規計上した。第1期工事では、管理棟や宿舍など総延べ約3万6000㎡の建設を予定している。内訳は、RC造6F建て延べ1万7034㎡の「A・B・C棟・低層サポート棟」、RC造8F建て延べ9638㎡の「管理棟」、RC造18F建て延べ9368㎡の「宿舍A棟」などを盛り込む。

◆第2期工事は、収容棟や宿舍など総延べ約5万㎡を設ける計画。RC造11F建て延べ2万2652㎡の「D・E棟・低層新入棟」のほか、RC造11F建て延べ1万1575㎡の「コア棟・ブリッジ棟」、RC造18F建て延べ9589㎡の「宿舍B棟」、RC造10F建て延べ4202㎡の「同C棟」、S造3F建て延べ2580㎡の「立体駐車場」を整備する。第3期工事は、RC造11F建て延べ1万9792㎡の「F・G棟・低層面会棟」とその連絡棟を建設する。第4期工事は、庁舎や宿舍など7棟総延べ約1万2000㎡を計画している。主な

施設は、RC造3F建て延べ4297㎡の「庁舎」、RC造7F建て延べ3089㎡の「宿舍D棟」、RC造7F建て延べ1506㎡の「同E棟」など。工事費は、1期が約174億4000万円、2期が約169億3000万円、3期が約67億7000万円、4期が約74億3000万円の総額約485億7000万円を見込んでいる。（実施設計：山下設計）



東京都：豊洲新市場（江東区）計画

東京都は、豊洲新市場建設事業の環境影響評価（アセスメント）調査計画書を公表した。今回の手続きは土壌汚染問題を踏まえ再実施するもの。計画では、江東区豊洲の敷地に総延べ約51万4000㎡の規模で市場施設などを建設する。整備スケジュールは、2009年2月にまとめた豊洲新市場整備方針によると、10年秋にアセスや都市計画手続きを終えた後、12年春までに汚染対策工事と市場施設の設計を完了させ、市場の本体工事に着手する。開場は14年12月を予定。総延べ51万3800㎡の同施設のうち、市場施設が33万9300㎡、千客万来施設が約9万1500㎡、立体駐車場が8万3000㎡となっている。建設地は江東区豊洲6丁目にある3街区計約40.7ha。

◆街区ごとにみると、5街区（12.9ha）には青果卸売場・青果仲卸売場（3F建て7万4900㎡）、千客万来施設（8F建て4万0700㎡）、立体駐車場（4F建て3万4100㎡）をそれぞれ整備する。6街区（14.3ha）は、水産仲卸売場（5F建て12万4600㎡）、千客万来施設（8F建て5万0800㎡）、加工パッケージ施設（3F建て1万2000㎡）、立体駐車場（7F建て1万6800㎡）。7街区（13.5ha）は、水産卸売場（5F建て9万3400㎡）、管理施設・関連店舗等（8F建て3万2300㎡）、リサイクル施設（平屋建て2100㎡）、立